

様式11-5

法人名 社会医療法人 三栄会

所在地 兵庫県姫路市網干区和久68番1

貸 借 対 照 表

(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	5,335,308	I 流動負債	2,921,915
現金及び預金	2,864,844	買掛金	899,775
事業未収金	2,345,437	短期借入金	249,802
貸倒引当金	△ 21,636	1年以内返済予定長期借入金	327,814
たな卸資産	64,467	リース債務	107,144
前渡金	52,184	未払金	721,764
前払費用	26,364	未払費用	69,183
その他の流動資産	14,553	未払法人税等	3,565
奨学金免除引当金	△ 10,907	未払消費税等	4,373
II 固定資産	5,589,754	預り金	107,949
1 有形固定資産	5,474,515	賞与引当金	430,398
建築物	2,311,802	その他の流動負債	144
構築物	126,082	II 固定負債	3,375,708
医療用器械備品	311,769	長期借入金	2,024,405
その他の器械備品	58,058	リース債務	146,040
車両運搬具	6,537	退職給付引当金	1,205,262
土地	1,676,814	負債合計	6,297,623
リース資産	236,413	純資産の部	
建設仮勘定	747,036	科 目	金 額
2 無形固定資産	70,605	I 積立金	4,627,438
ソフトウェア	68,018	設立等積立金	35,881
その他の無形固定資産	2,587	繰越利益積立金	4,591,557
3 その他の資産	44,632		
長期貸付金	33,266	純資産合計	4,627,438
奨学金免除引当金	△ 16,452		
長期前払費用	6,364		
その他の固定資産	21,454	負債・純資産合計	10,925,062
資産合計	10,925,062		

様式11-8

法人名 社会医療法人 三栄会

所在地 兵庫県姫路市網干区和久68番1

損 益 計 算 書

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金	額
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		14,494,985
2 事業費用		
(1)事業費	13,854,328	
(2)本部費	144,923	13,999,252
本来業務事業利益		495,733
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		220,181
2 事業費用		210,178
附帯業務事業利益		10,003
事業利益		505,736
II 事業外収益		
受取利息	350	
その他の事業外収益	156	507
III 事業外費用		
支払利息	15,931	15,931
經常利益		490,313
IV 特別利益		
その他の特別利益	221	221
V 特別損失		
固定資産除却損	549	
その他の特別損失	223,694	224,243
税引前当期純利益		266,291
法人税・住民税及び事業税	979	979
当期純利益		265,311

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

当会計年度より、医療法人会計基準（平成 28 年 4 月 20 日厚生労働省令第 95 号）を適用しております。

1 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産

最終仕入原価法による低価法を採用しております。

2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物	3 年～39 年
構築物	7 年～40 年
医療用器械備品	2 年～15 年
その他の器械備品	2 年～20 年
車両運搬具	2 年～6 年

② リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

③ 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

ソフトウェア（法人内使用分）については、法人内における利用可能期間（5 年）に基づいて償却しております。

3 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 奨学金免除引当金

貸付金（奨学貸付金）の返済免除に備えるため、債務免除見込額を計上しております。

③ 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

④ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき、当会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

また、会計基準適用時差異については、15 年による按分額を費用処理しており、当会計年度末の未処理残高は 328,437 千円であります。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

税抜き方式によっております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① 補助金等の会計処理方法

固定資産を購入する目的で受取った補助金等については、受取った会計年度に一括して収益として計上しております。

6 担保に供されている資産に関する事項

担保に供している資産及び対応する債務

【担保に供している資産】

科目	金額 (千円)
現金及び預金	85,103
建物	1,448,789
土地	827,354
計	2,361,247

【担保に係る債務】

科目	金額 (千円)
長期借入金 (1年内返済予定を含む)	2,352,219
計	2,352,219

7 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

① 有形固定資産に係る減価償却累計額 6,000,275 千円

② 基本財産の増減及びその残高

(単位：千円)

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	1,676,814	—	—	1,676,814
合計	1,676,814	—	—	1,676,814